

「紙」を超えて 未来を掴め

MERIT 01



誰でも簡単にアプリを構築できる

MERIT 02



スマホやタブレットで直感的な操作が可能

MERIT 03



現場で取ったデータはその場でクラウドへ

MERIT 04



ITの専門知識がなくても
スモールスタートでDXを実現



IT知識なしで簡単にアプリケーションを構築可能、「現場でつくる作業記録サービス」。

職場のDX推進に必要なのは、まだデジタルデータ。当たり前ではあるのだが、たとえば製造現場にお勤めなら、今も紙で管理している仕事は少なくないことをご存じのはずだ。制御・計測機器の大手として知られるアズビル株式会社がそれを認識したのは、工場の生産ラインにB7ツールを導入しようとした時だった。作業工程管理の一部が手書きで記録されているのだが、集めてみるとこれが無視できない量だった……というのは、「製造業あるある話」だったりもする。

デジタルデータが存在しない仕事があることを改めて確認した同社は、その後、どうしたか。作業記録サービスを開発することにしたのだ。

たとえば目視検査の記録では、その場の作業としては手書きも楽ではあるのだが、集計作業には手間がかかり、転記ミスが発生するリスクも。これを作業時にデジタル化しておけば効率的に集計・管理でき、生産性向上に貢献するのは自明の理だ。そこで、同社の作業記録サービスでは、現場に負担をかけないデジタルデータづくりを重視。タップやドラッグ&ドロップ、分かりやすい数字入力欄やチェックリストを多用し、誰でも迷うことなく業務データを作成できるインターフェースを実現した。

手書きの作業記録を アプリで簡単にデジタル化

スマホやタブレットでダイレクトに
入力し、表計算ソフトへの転記作業は
CSVファイルのダウンロードで一気
に解決。リアルタイムの進捗管理で翌日
の作業進行や人員配置の調整も容易
となり、報告書や画像データの送信
は一度オフィスに戻ることもなくその場

この成功を受けて、同社は外部向けサービスとして本格的に販売を開始。簡単に自社仕様のアプリケーションを構築できることから、業界を問わず導入が進んでいる。圧倒的な使いやすさに加え、料金設定も魅力的。料金プランも様々な用意されており、導入のしやすさを徹底している。

ITベンダーに頼らず実現 現場の業務改善DX

クラウドへアップできるようになっ
た。

こうして工場を革新した取り組みは他の製造現場へと波及したのだが、スタッフたちは意外に切り替えが早く、職場全体のモチベーションがアップ。データの活用で会議が活発になり、検討内容の質も飛躍的に向上したという。

デジタル化の過程では工程全体を見直すことになるため、本当に必要な作業のみにスリム化できる。また、目で伝わる画像を添付できる点も大きく、スタッフ教育にも活用できるだろう。ITベンダーに頼ることなく、使い慣れたスマホで作業の標準化を実現する注目サービス。カーボンニュートラルの実現に向けても、紙からの脱却は必須と言えるだろう。製造・設備・保守点検から働き方改革まで、まずは無料トライアルを。



azbil

アズビル株式会社 藤沢テクノセンター

神奈川県藤沢市川名1-12-2 <https://www.azbil.com/jp/rcd/> RCDinfo@azbil.com

詳しくは **アズビル 作業記録サービス** で検索